

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2024年10月)
—失業率は過去最低の6.3%で横ばい推移

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

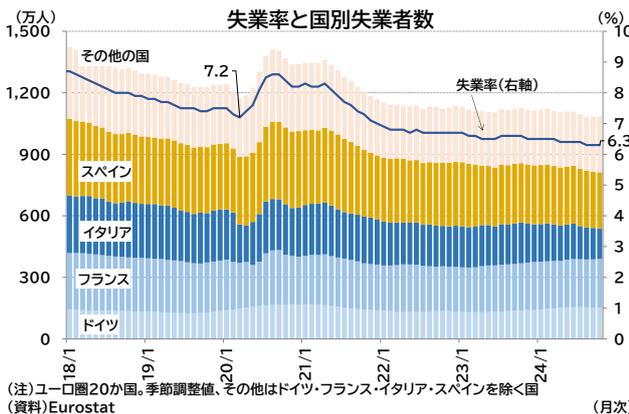
1. 結果の概要:失業率は6.3%で横ばい推移

12月2日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

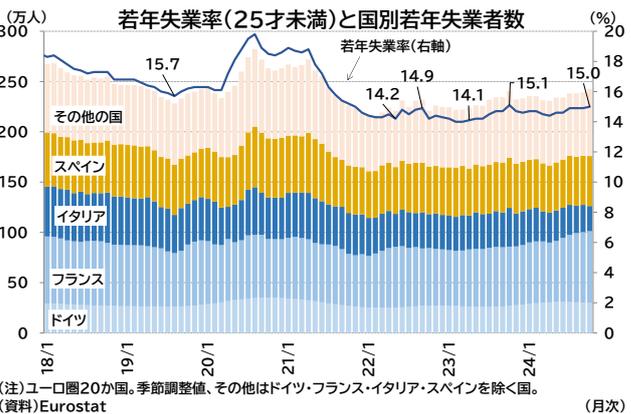
【ユーロ圏失業率(20か国、2024年10月、季節調整値)】

- ・失業率は6.3%、市場予想¹(6.3%)と一致、前月(6.3%)から横ばいだった(図表1)
- ・失業者は1084.1万人となり、前月(1084.4万人)から0.3万人減少した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:若年失業率は小幅上昇、過去数値も悪化方向に改定

ユーロ圏(20か国)の10月の失業率は6.3%となり、統計データ公表以来の最低値で3か月連続の横ばい推移となった。また、9月以前の過去データは、ほとんど変更されなかった。

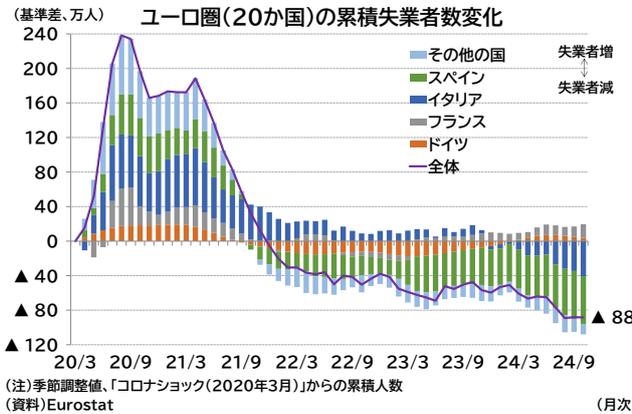
失業者数は10月の前月差で0.3万人減となり、9月の増加(1.0万人)からマイナスに転じた。主要4か国で見ると、フランス(3.6万人)は増加、スペイン(0.1万人)が微増、イタリア(▲5.9万人)とドイツ(▲1.0万人)は減少した。ドイツは3か月、イタリアは4か月連続での減少で、スペインは9月まで8か月連続で減少していたが、10月は増加した。失業者数はコロナ禍前より88万人程度少なく、スペイン(コロナ禍前比▲55万人)とイタリア(同▲10万人)の失業者減少の寄与が大きい(図表3)。

10月の若年失業率は15.0%となり、9月(14.9%、改定前14.4%)から小幅に上昇した。ただし、過去データが大幅に悪化方向に修正された(8月14.3%→14.9%、7月14.4%→14.9%)。若年失

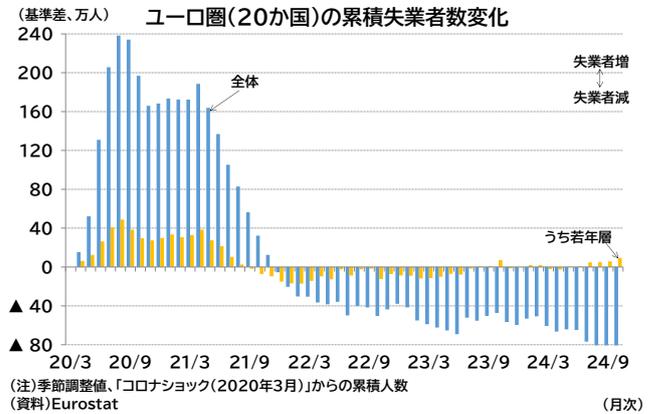
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

業者数は10月で242.7万人（前月差3.5万人）となった（過去データは6-8月に3か月連続での減少となっていたが、すべて増加に改定された）。その結果、24年5月以降の若年失業者数の水準はコロナショック直前（20年3月の233.4万人）を上回る状態となった（図表4、改定前は24年9月までコロナ前の水準を下回っていた）。

（図表3）

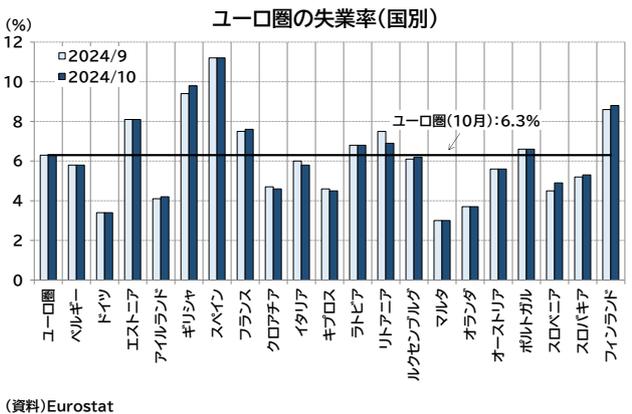


（図表4）

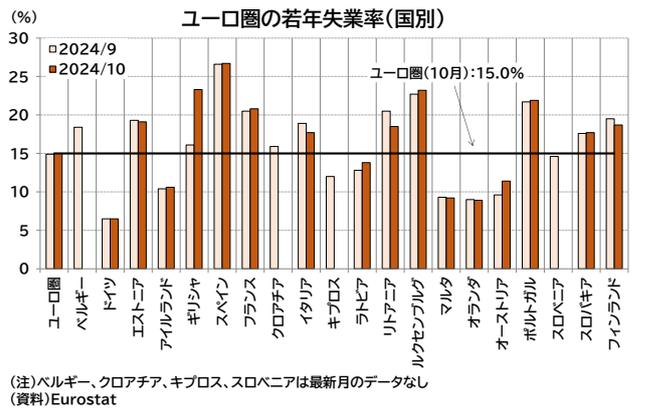


国別の10月のデータを見ると、失業率は20か国中、悪化した国が7か国、改善が4か国、横ばいが9か国だった（図表5）。若年失業率は公表されている16か国中、悪化した国が9か国、改善が6か国、横ばいが1か国だった（図表6）。

（図表5）

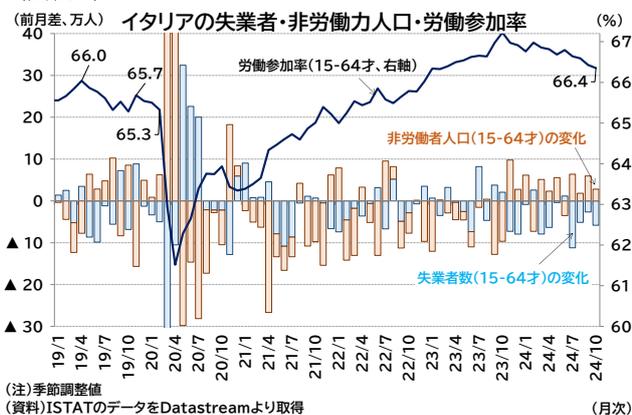


（図表6）

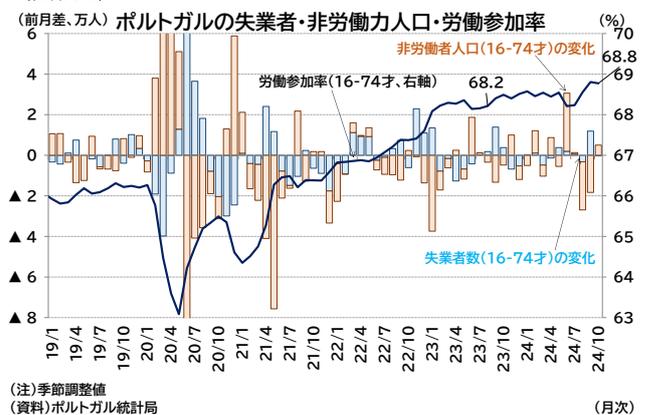


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少する一方、雇用者と非労働力人口が増加した（図表7）。ポルトガルは失業者が微減、非労働力人口数と雇用者数がともに増加する形となっている（図表8）。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保證するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。